

# Black Box Pedal Board

Foot Controller for Black Box

## Quick Start Guide

This guide is intended to help get you started quickly. In order to achieve optimal usage of your new Black Box Pedal Board, we recommend that you carefully study the enclosed product manual, either after completing the process described in this guide or before.

日本語

**M-AUDIO**

## 接続の方法

BlackBoxのバックパネルにはペダル用の端子が3つ装備されています。1つはエクスプレッション・ペダル用、残りの2つはモーメンタリー・ペダル用です。BlackBox Pedal Boardはエクスプレッション・ペダル1系統とモーメンタリー・スイッチ2系統を装備し、BlackBoxの1/4端子3系統に接続できる3チャンネルの長いスネークケーブルが付属します。それぞれのチャンネルにはExpression、P1、P2と表示されていますので、それぞれをBlackBoxのバックパネルにある同じ表示の1/4端子に接続します。



エクスプレッション・ペダルがカバーする範囲は広く、ワウ・ペダルのように最低値から最高値までの間のあらゆる値で有効です。これに対してモーメンタリー・スイッチは2つのポジションを切り替えるもので、ディストーション・ペダルのようにオープン/クローズ、オン/オフなどに使います。

## エクスプレッション・ペダルの機能を割当てる

BlackBoxのUTILITYキーを押してLCD画面のEXP PEDALの下のロータリーの分を回すと、エクスプレッション・ペダルに以下のパラメータのいずれかを割当てることができます。これらの値は「プリセットごと」に設定します。例えば、あるプリセットではエクスプレッション・ペダルにワウに割当て、別のプリセットではエクスプレッション・ペダルにディレイのボリュームを割当てることができます。

### Amp Drive (AmpDrv)

ペダルはドライブ・パラメータに続いてアテニュエーター（減衰器）として動作し、シグナルレベルをオフの状態から現在のドライブの設定値まで変化させます。

### FX Speed (FXSped)

現在の設定がテンポ・ベースなら、ペダルは-2から+2の範囲でテンポ・ベースの設定の許容範囲に制限されています。現在の設定が番号ベースなら、0から現在の設定の中間値から現在の設定から99の中間値までの範囲になります。

### FX Frequency (FXFreq)

ペダルの範囲は現在の設定値のマイナス30からプラス30までの範囲内です。

## M-AUDIO

### FX Depth (FXDpth)

ペダルは0から現在の設定(正負を問わず)までの範囲になります。

### FX Key (FXKey)

範囲は現在の設定値プラス7セミトーンになります。

### FX Wet/Dry (FX WetDry)

ペダルを踏むとパネルのパラメータが変化し0から99の範囲になります。

### Delay Volume (DlyVol)

ペダルの範囲は0から現在の設定値までです。

### Delay Repeats (DlyRpt)

ペダルを踏むとパネルのパラメータがそれに合わせて変化し範囲は0から99です

### Drums to Delay (Dm2Dly)

ペダルを踏むとパネルのパラメータがそれに合わせて変化しパラメータの範囲の前半部分であるD0からD99の範囲です。

### Drums to Filter (Dm2Flt)

ペダルを踏むとパネルのパラメータが変化しパラメータの範囲の後半部分であるF0からF99の範囲です。

## ノブの機能について

このノブは「最小値/最大値」を持つノブです。ノブを一番右に回すと最大値に設定され、一番左に回すと最小値に設定されます。通常このノブは最大値に設定しておきます。ここでは、このノブをクリエイティブに使う方法を解説します。例えばFX Wet/Dry設定を使ってみます。まずファクトリープリセット80のTAKBX1を選択します。ノブを一番右の最大値まで回します。UTILITYキーを押し、左から3番目のロータリーノブを使ってWETDRYをエクスペッション・ペダルに割当てます。ペダルのつま先を踏み込んだ状態で、サウンドはトークボックスのエフェクトがかかった100%ウエットな状態です。かかとを踏み込んだ状態では、エフェクトは100%ドライ（トークボックスのエフェクトはかかりません）な状態です。ノブを少しだけ左に回します。かかとを踏み込んだ状態でも少しだけトークボックスのエフェクトがかかったサウンドが聞こえますが、ペダルをつま先で踏み込むとエフェクトは100%ウエットになります。

同様にDELAY VOLUME（ディレイ・ボリューム）をエクスペッション・ペダルに割当ててみます。ノブを少しだけ左に回すとかかとを踏み込んだ状態でもシグナルに少しだけディレイがかかって聞こえます。つま先を踏み込んだ状態では100%ディレイのかかったシグナルになります。

## モーメンタリー・ペダルの設定を割当てる

モーメンタリー・ペダル (P1とP2) はBlackBoxの左側にあるキーと同じ機能を割り当てることができます (UTILITYキーだけはモーメンタリー・ペダルに割り当てることができません)。ペダルに割り当てるには、割り当てるペダルを踏んだ状態のままBlackBoxの左側にあるキーを1秒間押し、そのあとペダルから足を離します。

### 設定の例:

P1に接続したペダルを踏み込んだ状態でBlackBoxのTAP TEMPOキーを押した後、ペダルから足を離します。P1に接続されているペダルを踏めばドラムのテンポをタップすることができます。

P2に接続したペダルを踏み込んだ状態でBlackBoxのSTARTキーを押した後、ペダルから足を離します。P2に接続されているペダルを踏むとドラムマシンが開始/停止します。

P1に接続したペダルを踏み込んだ状態でBlackBoxのDELAYキーを押した後、ペダルから足を離します。P1に接続されているペダルを踏むとディレイのエフェクトをオン/オフすることができます。

**P1とP2Pのペダルには以下の機能を割当てることができます。**

- プリセット番号の増減
- ドラムビートの開始/停止
- アンプのオン/オフ
- ディレイのオン/オフ
- ドラムビートの増減
- タップテンポ
- FXのオン/オフ
- チューナーのオン/オフ

### 有効なペダル割当て例:

- P1=開始/停止
- P2=FXのオン/オフ
- Expression=ディレイ・ボリューム

LAMODアンプ、FX RNFL 8、ディレイ・タイム4N、ディレイ・リビート50、ディレイ・ボリューム65で以上の設定を試してみます。テンポは128BPMに設定します。

以上の設定によりP1でドラムマシンを開始/停止します。FX OFFで演奏を開始します。FXなしで旋律を演奏し、ソングのコーラスでP2を使ってFXをオンにします。これでビッグなランダム・フランジャーのサウンドになります。エクスペッション・ペダルのかかたを踏み込んでみます。ペダルのつま先を踏み込みながらソロのラインをあちこちに入れます。これでシグナルにビートシンクのディレイがかかります。次にエクスペッション・ペダルのかかたを踏み込んでリズムのパートを再び演奏します。リズムの演奏を開始したら、リズムのパートに合わせて最後に演奏したソロの部分がリビートされフェードアウトします。

- P1=ディレイのオン/オフ
- P2=FXのオン/オフ
- Expression=FXのデブス

# M-AUDIO

BRTHVYパンプ、FX WAHPDL、ディレイタイム 4N、ディレイ・リピート30、ディレイ・ボリューム40で以上の設定を試してみます。テンポは128BPMに設定します。

以上の設定によりP1でディレイをオン/オフができ、ソロに加えるには最適です。P2ではワウのエフェクトをオン/オフします。エクスプレッション・ペダルをワウ・ペダルとして使います。クリーンでヘビーなアンプのトーンで使用するにはぴったりです。

## お問い合わせ先

テクニカルサポートへのご質問は、M-Audioのウェブサイト[www.m-audio.com](http://www.m-audio.com)からテクニカルサポートのフォームにご記入になりオンラインでお送り下さい。または、以下へご連絡下さい。

アビッドテクノロジー株式会社 | エムオーディオ事業部 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-18-10

電話の場合：052-218-0859（平日10：00～12：00/13：00～17：00）

E-mailの場合：win-support@m-audio.co.jp（Windows環境）/mac-support@m-audio.co.jp（Macintosh環境）

## 製品保証

### 保証規定

エムオーディオでは安全上のご注意に基づいて適切に使用されている場合に限り、本製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間となり修理は無償で行います。しかしながら、不適切な使用方法による破損の場合、ご購入者が所有していない場合、エムオーディオでのユーザー登録がお済みでない場合などは保証の対象となりません。但し、電源アダプタやケーブルなどの付属品は、適切な使用の結果不具合が生じた場合でも保証対象には含まれません（初期不良の場合は除く）。お使いの製品に対応する保証規定は[www.m-audio.com/warranty](http://www.m-audio.com/warranty)でご覧下さい。

エムオーディオへ製品を送付する場合には、事前にエムオーディオのRA（Return Authorization）番号を取得する必要があります。製品のRA番号を取得するには、エムオーディオへご連絡頂ければ、エムオーディオのカスタマーサービスが症状などをお伺いしエムオーディオへ製品の送付が必要と判断した場合にRA番号を発行させて頂きます。製品のRA番号を取得後、具体的な症状や送付理由を書面に記述し、製品を保護する安全な梱包を施した上、外装パッケージにRA番号を明記しエムオーディオまで送付下さい。製品の修理には発送時の送料、返却時の送料と発生し得る手数料はご購入者の負担となります（初期不良の場合は除く）。



### ユーザー登録

エムオーディオへお問い合わせ頂く場合には、エムオーディオでのユーザー登録を完了しなければ製品保証や技術的なサポートを受けることができません。ユーザー登録を行うには、次の2つの方法があります。環境に合わせた方法でユーザー登録を行ってください。1.) コンピュータで（一般的なWebブラウザ）エムオーディオWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオ オンラインユーザー登録ページ<http://www.m-audio.com/register/index.html>にて、必要事項を入力して送信して下さい。2.) 携帯電話でエムオーディオWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオ モバイルサイトのオンラインユーザー登録ページ<http://www.m-audio.com/mobile/>にて、必要事項を入力して送信して下さい。（注意：ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。）

# M-AUDIO